

令和3年度 第1回 東京都教員育成協議会 会議要旨

- 1 日 時 令和3年7月8日(木) 午後3時から午後5時まで
- 2 会 場 Teamsによるオンライン会議 本部：都庁第二本庁舎 31階特別会議室 22
- 3 出席者 増田委員(会長)、藤井委員(副会長)、佐々木委員、増淵委員、吉川委員、後藤委員、桜沢委員、中村委員、秋山委員、並木委員、野村委員、和田委員、安部委員、浅野委員、小寺委員

4 議事内容

(1) 東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標について

- 教員に使命感の自覚を促したり、教育管理職の学校マネジメント能力を育成したりしていく上で、この指標を大いに活用していきたい。
- 職層に応じた指標が具体的に示されているため、教員の自己申告面接時の目標設定に生かすことができる。また、職層に応じて教員の力量を伸ばしていく上での目安や参考になる。
- 教員や教育管理職の育成における有効な指標であるだけでなく、教職課程を学ぶ学生たちにとっては、教員の「基礎形成期」の具体的な姿を理解する上で大変参考になる。
- 「外部人材の活用」については、「外部人材」や「活用」という表現は改めていくべきではないか。学校運営に協力して下さる方々に対して、外部ではなく、内部の教員と同じという意識をもった方がよい。また、学校もそういった方々を「活用する」のではなく、「一緒にやっていく」というスタンスをもつようにした方がよいと考える。

(2) 東京教師養成塾について

- 大学3年の秋から東京教師養成塾が始まることにより、教員採用試験を受験する時期には十分実習経験を積むことができているといった利点がある。一方、大学のカリキュラムとの関係から、東京教師養成塾に入りにくいといった課題がある。オンライン等を活用し、課題の改善を図りたい。
- 東京教師養成塾に参加している学生は優秀である。学部長表彰を受けた学生も参加している。
- 一部の新規採用者の学力に課題があると感じる。教師養成塾の選考では、しっかり見極めていただき、選抜してほしい。
- 3年秋から4年秋までと期間を変更したことは、その後の進路を決める上ではよいと考える。